

## 別紙

## 「新たな体験活動」モデル事業実績報告書

施設名 茨城県立白浜少年自然の家

事業の名称 (テーマ)	「新たな体験活動」モデル事業 「北浦・霞ヶ浦の現在、そして未来へ」 ～湖沼周辺の環境を探って～
事業の目的	身近にある自然（湖沼）にふれあい、サイクリング活動体験や漁業や環境保全に係わっている方々からの講話を聞き、そこから見いだした疑問から、各自が課題を設定し、他者とのかかわりをもちながら自分で解決する力を育成する。また、地域の特性などを学ぶ活動をとおして、郷土のすばらしさを発見し、郷土を愛する態度を育み、地域の発展に貢献しようとする人材を育成する。
事業の内容・方法	<p>1 期　　日</p> <p>1回目 11月18日（土）～19日（日）参加人数：2名      2回目 12月 9日（土）～10日（日）参加人数：2名      3回目 1月13日（土）～14日（日）参加人数：2名</p> <p>2 参加対象 小学校高学年</p> <p>3 参 加 費 11,000円（宿泊費・食糧費等）</p> <p>4 内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツレクによる仲間づくり             <ul style="list-style-type: none"> <li>・グランドゴルフ・ターゲットフリスビー</li> </ul> </li> <li>○地元の漁業関係者の方々や環境保全に関わっている方の話を聞く。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の佃煮店の方の話</li> <li>・NPO法人アサザ基金の方の話</li> </ul> </li> <li>○北浦周辺の散策活動（サイクリング）</li> <li>○各自で課題を作り、課題に向けた調べ学習</li> <li>○野外炊飯活動 ○成果発表会</li> </ul> <p>5 方 法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○簡単なゲームを行い緊張をほぐし仲間意識をもたせる。</li> <li>○各自で課題を作る。（場の設定）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業関係者の方々の話を聞く。</li> <li>・環境保全の方の話を聞く</li> <li>・佃煮店を訪問</li> <li>・北浦周辺のサイクリングを行う。</li> <li>・各自の課題について調べ内容や方法を考え、課題解決学習を進める。</li> <li>・ジャンボタクシー等を使用して現地調査等を行う。 その他関係施設に出向き、課題を解決していく。</li> </ul> </li> <li>○野外炊飯活動を行う。カレーうどん作り</li> <li>○各自調べた内容について、発表会を行う。</li> </ul>
成 果	参加者は少數であったが、学校や家庭ではできない、様々な活動を計画的に進めることができた。特に、自分がやりたい事を自由に進められたことに対して、たいへん満足していた。また、保護者の方も、有意義な時間を過ごせたことに対して感謝を示していた。成果の発表会においても、堂々とした態度で発表ができたのでたくましさを感じたようであった。このような体験を今後も強く要望していた。

様式第4号

事業報告書

〈施設 茨城県立白浜少年自然の家〉

期日	令和5年11月18日(土)	1回目	1日目									
活動内容	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22											
※主な活動内容や場所等を記入	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 33%;">開 講 式</td> <td style="text-align: center; width: 33%;">仲 間 づ く り</td> <td style="text-align: center; width: 33%;">課 題 解 学 習 と は</td> </tr> <tr> <td>サイ ク リ ン グ</td> <td>北 浦 湖 畔 の 見 散 学 策</td> <td>サ イ ク リ ン グ 準</td> </tr> <tr> <td>佃 煮 店 の 見 散 学 策</td> <td>北 浦 湖 畔 の 見 散 学 策</td> <td>北 浦 湖 畔 の 見 散 学 策</td> </tr> </table>			開 講 式	仲 間 づ く り	課 題 解 学 習 と は	サイ ク リ ン グ	北 浦 湖 畔 の 見 散 学 策	サ イ ク リ ン グ 準	佃 煮 店 の 見 散 学 策	北 浦 湖 畔 の 見 散 学 策	北 浦 湖 畔 の 見 散 学 策
開 講 式	仲 間 づ く り	課 題 解 学 習 と は										
サイ ク リ ン グ	北 浦 湖 畔 の 見 散 学 策	サ イ ク リ ン グ 準										
佃 煮 店 の 見 散 学 策	北 浦 湖 畔 の 見 散 学 策	北 浦 湖 畔 の 見 散 学 策										
事業トピックス ※1日の活動中で 主な活動内容及び参加者の様子等												
<p>・開講式並びに仲間づくり</p> <p>開講式の後、少人数ではあるが仲間づくりとしてグランドゴルフやターゲットフリスビーを行い、友達の輪を広げた。二人ともはじめての体験ということで、とても楽しんでいた。</p>												
<p>・課題解決学習について学ぶ</p> <p>課題を見つける手法の一つとして、ウェビングマップを活用して課題を見つけるようにした。はじめに簡単なテーマを指示し、作成の仕方を学んだ。最終的には、「北浦」をテーマに完成させ、課題に結び付ける手段とした。</p>												
<p>・地元にある佃煮店訪問並びにサイクリング（白浜・宇崎地区の北浦湖畔）</p> <p>地元にある佃煮店を訪問し、店主（辺田さん）の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●現在の北浦での漁の様子</li> <li>●佃煮にする魚の種類</li> <li>●昔の北浦の漁について</li> <li>●昔と今の漁獲量の違い</li> <li>●佃煮ができるまでの工程について</li> <li>●活気ある地域の方々の生活の様子（昔の写真より）</li> </ul> <p>以上のことについて、辺田さんから話を聞く。今と昔の漁の様子の違いに驚きを見せていて。特に、昔は日本一と呼ばれるほどの漁獲量であったということを聞いて驚いていた。それが、なぜ今は獲れなくなってしまったのか大きな疑問となつた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●白浜・宇崎地区の堤防沿いのサイクリングを行い、気が付いたことや不思議に思ったことについてまとめた。</li> </ul>												
成果と課題	<p>少人数でのスタートとなった。今回の見聞内容については、家庭や学校では体験できないことばかりだったので、課題をつかむというよりは、驚いたことや不思議に思ったことが多かったようである。このような内容について、まとめさせ、課題に広げていきたい。2日目の活動を充実させたい。</p>											

様式第4号

事業報告書

〈施設 茨城県立白浜少年自然の家〉

期日	令和5年11月19日(日)	1回目	2日目			
活動内容	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22					
※主な活動内容や場所等を記入	起床 サイクリング → 潮来市 食事 白浜休憩 昼食 北浦環境の保全を聞く の散歩をまとめ					
事業トピックス ※1日の活動中で 主な活動内容及び参加者の様子等						
<b>・サイクリング (白浜スタート→潮来市大原→白浜ゴール) 体験</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 10km程度の堤防を走行した。気になった場所に止まり、写真を撮影しながら、白鳥が見られる潮来市（大生原）まで進んだ。所々に、きれいな北浦にするために工夫された所があり驚いていた。特にゴミが落ちていることもなくとてもきれいになっていたことに感心していた。</li> </ul>						
<b>・北浦環境保(NPO法人 アサザ基金)の方の話を聞く</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>アサザ基金（飯島さん）の話を聞く</li> <li>●佃煮が盛んになった理由</li> <li>●ウナギの漁獲高日本一から、今は獲れなくなった理由とは？</li> <li>●昔は、この北浦で泳げた（プールがわりに泳いだ）</li> <li>●昔の北浦の水底の様子 ●現在の水底の様子</li> <li>●すべての生き物が「自然ありがとうのつながり」をもつことの大切さ</li> </ul> <p>以上のことについて、飯島さんの話を聞く。</p> <p>昔と今の北浦の環境の違いについて、絵や写真を使った説明を聞く。</p> <p>特に、昔と今の水底の様子の違いの話にたいへん興味をもって聞いていた。</p>						
<b>・2日目のまとめと課題づくりを行う</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サイクリングと環境保全の方の話から、課題につなげていきたい。特に話の中で、興味を示したのは、水底の大きな変化の様子であった。さらに深めさせたい。</li> </ul>						
成果と課題	散策をして感じたこと、北浦の昔と今の環境の違いについて話を聞いたことで、学ぶことが多かった二日目であった。1回目の活動を整理させ、課題につなげられるようにしたい。講話を聞いたことで、実際に見学をしたくなったという思いになったので、さらに意欲を高めていきたい。					

様式第4号

## 事業報告書

〈施設 茨城県立白浜少年自然の家〉

様式第4号

事業報告書

〈施設 茨城県立白浜少年自然の家〉

期日	令和5年12月10日(日)													2回目	2日目		
活動内容	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
※主な活動内容や場所等を記入	起	食	霞	歩	水	昼	活	課	終								
	床	事	ケ	崎	族	食	動	題	了								
			浦	公	館	.	の	づ									
			堤	国	の	.	ま	く									
			防	見	休	と	り										
			の	散	学	憩	め										
			散	策													
事業トピックス ※1日の活動中で 主な活動内容及び参加者の様子等																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドワーク (かすみがうら市 水族館の見学)           <ul style="list-style-type: none"> <li>●北浦や霞ヶ浦に生育する魚について 北浦周辺のサイクリングや釣りを体験し、魚について興味を示したようである。さらに、はじめての釣り体験をしたが全く釣れなかつたので、この北浦でどんな魚が釣れるのか、調べたくなったようである。館内では、エビやタナゴ等の小魚、大きく成長して1m以上になった鯉など、数多くの種類の淡水魚を見ることができて、たいへん感動したようであった。</li> <li>●係員さんの仕事について 興味を示したのは、係員さんの仕事の一つである、「魚の世話」である。係員へ仕事の様子を話しかけたりしていた。魚の種類により、水槽の環境を整えたり餌を与えていたりといった魚の世話についての大変さを感じたようである。また、水槽という環境と自然の中の北浦という環境が、魚たちが自然界の中で、生きていく上で大切なのは、過ごしやすい環境が必要なんだということにもふれて、アドバイスをした。</li> </ul> </li> </ul>																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめと活動内容の整理           <ul style="list-style-type: none"> <li>●今日の活動のまとめと今までに撮影した写真等の整理 実際に動ける活動時間も少なくなったので、今まで撮影した写真の整理を行い、発表会内容と結び付けた写真の選択を行った。</li> </ul> </li> </ul>																	
成果と課題	フィールドワークを中心に進めることができた。参加者にとっては興味をもったことに対して、すぐに自分の目で見るという行動に移せたことは、とても喜んでいた。このように、思いついたこと等をすぐに確かめたりすることは、たいへん素晴らしいことである。さらに、興味・関心が高まるものと思われる。今回の事業の大きな特徴ともいえる。																



様式第4号

事業報告書

〈施設 茨城県立白浜少年自然の家〉

期日	令和6年1月13日(土) 3回目 1日目																
活動内容	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
※主な活動内容や場所等を記入	集 合	發 表 會 の の ま 準 備	活 動 の ま 休 憩	昼 食 ・	野 外 炊 飯	夕 食 ・ 入 浴	活 動 の ま 休	就 消 寢 の 准 備									

事業トピックス ※1日の活動中で 主な活動内容及び参加者の様子等

・前回までの活動のまとめ

●今までに写した写真を整理する

発表会で使用する写真について、どの部分で使用するかな  
ど考えながら選んでいた。体験活動ごとに伝えたいことや  
自分が思ったことなども含め、紙芝居形式でまとめていっ  
た。1枚の写真からどんなことを伝えていくか、また、聞  
いてくださっている方にわかる伝え方は、どうすればいい  
などにもふれ、よりよい伝え方ができるように助言した。



●発表原稿の読み合わせ

完成した作品をお互いに読み合わせをしたり、発表し合っ



たりして、より良い発表ができるようにした。また、この日は生涯学習課の海野先生  
が来所していたので、一緒に読み合わせに参加し、たくさんのアドバイスをいただい  
た。子どもたちは自信がつき、練習においても力が入っていた。

●野外炊飯活動（カレーうどん作り）

白浜少年自然の家ならではの体験として、うどん作りを計  
画した。子ども達にとって初めての体験となった。



生地をこねる、のばす、切るという工程を喜んで活動して  
いた。また、食材に使う野菜を切ったり、カレー汁を作っ



たりした。普段体験できないうどん作りを行い、自力で作り  
上げ、やっと完成できた時は、大喜びでした。苦労して作っ  
たうどんの味は、最高だったようでした。後片付けも最後ま  
でしっかりと取り組んでいた。

成果と 課題	最終回となり、活動にもゆとりが出てきたようである。1日目の午前中まではフィールドワークを予定していたが、発表に向けての準備をしたいということなので、原稿の作成等を行った。県生涯学習課の海野先生が来所されたので、発表リハーサルに参加していただいた。気が付いたことやさらに良くなるポイント等を指摘していただき、自信につながったようである。最後のまとめにおいて、今回の事業をとおしての感想やこれから自分としてどう取り組んでいけばいいのかなどについての感想も加えさせたい。
-----------	--

樣式第4号

事業報告書

## 〈施設 茨城県立自浜少年自然の家〉

期日	令和6年1月14日(日)							3回目	2日目	
活動内容	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22									
※主な活動 内容や場所 等を記入	起 床	食 事	白 鳥	発 表	リ ハ ー	昼 食	成 果	閉 講	解 散	
	の 観 察	の 会	の サ ル	・		休 憩	發 表			
			準備							

事業トピックス ※1日の活動中で 主な活動内容及び参加者の様子等

- ・フィールドワーク（白鳥の飛来場所の見学） 潮来市水原の堤防

サイクリング（11月19日）で来た時は、まだ白鳥は飛来していなかった。どうしても見たいというので、現地へ見にいった。そこ

では、沖の方で水面浮かぶ白鳥やどこかに飛んで行く白鳥の姿をたくさん見ることができ、感動していた。たいへん喜んで、白鳥の写真等を撮っていた。ここで疑問に思ったことは、日中は、どこに飛んでいくのかということであった。今後も白鳥について調べてみたと言っていた。



- #### ・活動のまとめと発表に向けての準備・リハーサル

前日までに、ある程度までの準備はできたようではあるが、読み直しを行うなど、リハーサルに向けての準備を行った。

お互いによる読み聞かせを行うなどして、さらに内容に膨らみをもたせるようにした。午前中に、数回のリハーサルを行い、自信をもって発表ができるように備えた。



- ・成果発表会

所員や保護者の前で、6日間の成果発表を行った。撮影した写真を有効に使用して、新たな発見等を述べていた。



- ## • 閉講式

アンケートを行い、振り返りを行った。所員から、6日間で学んだことや心に残ったこと、楽しかったこと等の質問があり、6日間の思い出を語った。また、発表会に参加した母親から「このような体験学習は、学校では行うことができない、とても貴重な体験になったのではないか。このような経験を今後も期待したい。」という感想をいただいた。また、「家庭で、体験したこと得意そうに話してくれた」とも述べていた。



成果と 課題	いよいよ最終日となった。まとめたことを他人にわかるように伝えるということへのプレッシャーなのか、いつもと違う表情であった。積極的に声の大きさや話すスピード等にも注意を払いリハーサルを行っていた。発表においては事前の万全な準備により、満足した発表ができたようであった。また、少人数の中での発表会ではあったが、たいへん有意義な成果発表であった。子どもたちにとって、課題をもつという点では十分とは言えなかったが、体験をとおした新たな発見ができたという点では、満足いくものであったと考える。
-----------	---